

1. 件名：1号機 RCW 水素滞留事象等に関する面談

2. 日時：令和5年4月17日（月）13:30～14:00

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、大辻室長補佐、石井係長、高橋係員

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 3名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」）という。）に対して、第106回特定原子力施設監視・評価検討会で東京電力が説明した1号機RCW熱交換器入口配管の水素滞留事象に係る対応のうち、配管内で水素爆発した際の発生圧力が、第8回特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合（以下「技術会合」という。）で原子力損害賠償・廃炉等支援機構が示した水素燃焼評価手法による配管内発生圧力に比べて、過小なものとならないか確認し、その結果を示すよう指示した。
- 東京電力から、今後の技術会合で資料として提示できるよう準備する旨回答があった。

6. 資料

なし